

No.	[意見Q]	[回答A]
社会福祉法人くじらへの意見書		
1. 乳児の部屋をなぜ各年齢1部屋にするのか。		
1	乳児 0歳(21名)・1歳(36名)・2歳(42名)を各1部屋で保育する理由を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の子どもの姿がよく見えることで、発達を把握することができます。</li> <li>・職員が連携しながら保育を行えるので、同じ年齢の子ども達が同じ経験をすることができます。</li> <li>・担当の子どもとかかわりながら、担当以外の子ども達も見守ることができます。</li> <li>・1部屋で保育を行います。乳幼児の人数により柔軟で、臨機応変な対応ができるよう、パーテーションや柵により区画を設けます。</li> </ul>
2	(遊び) 大人数での保育。遊びを邪魔されたりしないようにどのような工夫をしていますか。(具体的に) 好きな遊びを一人ひとりが十分に楽しめる環境が作れますか。 一人ひとりを大切にできる保育ができますか。	木製のロッカーやままごと柵や絵本棚、サークル等で仕切ることにより、一人ひとりの遊びの場が保障され、発達に応じた遊びを十分に楽しむことができます。
3	(生活) 乳児(0.1歳児)は育児担当制ですか。もしそうでなければ、大人数の子どもたちをどのように保育していこうと考えておられるのですか。 (オムツ交換・おやつ・給食・お昼寝・遊びへの移行・遊びの準備)	0. 1. 2歳児は育児担当制で対応します。保育士間で連携を図るとともに、一人ひとりへのきめ細やかな配慮に努めます。
4	(生活) 乳児期は一人ひとりの発達の差が大きいです。たくさん子どもたち、たくさんの保育士、一人ひとりの子どものリズムを保障できますか。 例：0歳児・・・午前寝をする子 1歳児・・・月齢の低い子の対応(まだ歩けない子) 2歳児・・・トイレトレーニング	育児担当制により愛着関係を形成し、性格、特徴の把握したうえで、子どもの月齢に応じた生活を保障できるよう保育を行っています。
5	2歳児はトイレトレーニングをする子が多い。42名のトイレ使用をどのように考えておられますか。(42名も子どもがいたら保育者はトイレについたらずっと戻れない。)(保育士2名が抜けたらトラブルに対処できない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児もグループ担当の保育士が、子どものタイミングを図り声をかけてトイレに行けるようにします。</li> <li>・他の保育士と連携しながら、スムーズに着脱、排泄、手洗いが行えるようにします。</li> </ul>

No.	[意見Q]	[回答A]
6	1歳児後半から2歳児は「自分でやりたい」気持ちが出てくる時期。大人数の子どもたちの中、その気持ちに寄り添えますか。	自分でやりたい気持ちを大切にし、できることは自分で行えるよう、担当の保育士が傍で見守ったり、少しだけ手伝ったりするなど、一人ひとりに寄り添った保育を行います。
7	1歳児後半から2歳児は自己主張が強くなる時期です。大人数の子どもたちの保育の中でどのように関わっていくのですか。	大人数で一斉に保育を行うのではなく、育児担当制や複数体制で連携を図りながら、一人ひとりとしっかり向き合い保育を行います。
8	0歳児、1歳児は特に午睡時、布団で眠れない子が多いです。抱っこやベビーカーで寝るとき、個々によって時間差はあるが、大人数の子どもをどのように対処していくのですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーベッドや布団を敷く場所は、遊びの空間からできるだけ離します。</li> <li>・大人数ではなくグループで保育を行い、同じ時間に眠っている子ども、遊んでいる子ども、それぞれの生活を保障できるようにし、照明やカーテンなどで明るさを調整します。</li> </ul>
9	午睡の寝かしつけ時、眠くて泣く子や2歳児はイヤイヤで落ち着かない子もいます。大人数の騒がしい中でどのように寝かしつけしていくのですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布団はいつも同じ場所に敷いてあり、食事を終えると自分で布団の所へ行きます。</li> <li>・生活リズムが安定してくると、寝かしつけをしなくても自分で静かに眠ろうとします。</li> </ul>
10	乳幼児はロタやノロは広がりやすい。感染する可能性も高い。どのように対処されるつもりですか。	感染症対策については、対応マニュアルに基づき対応することとしております。当然保育室をはじめ、多目的遊戯ホール、ミーティングルームを活用し、様々なケースを想定しながら対応できるよう準備を進めており、感染拡大を最小限に抑えます。
11	保育者間の連携はとれると考えておられるのですか。保育者の人数が多い分、時差出勤等があると連携しにくい。0.1.2歳児は各2クラスで保育者の人数を減らすほうが連携しやすく「報・連・相」がスムーズに行くと思います。	園の規模に関わらず「報・連・相」は保育を行う上で基本となることから、徹底して進めてまいります。
12	1クラスに大人数の乳児。乳児は早朝から登園する子が多い傾向があります。保育者は確保できているのですか。	現在、職員採用における説明会や面接を随時開催しており、市民の皆様のご期待にお応えできるよう全力で対応いたします。
3. 遊戯室・プレールームを作らないのはなぜか。		
1	くじら園の他の園で遊戯室を使用しない理由は、なぜ遊戯室の設置を必須としないのですか。使用頻度が低いとは、どのように使用されているのですか。	遊戯室の使用については、園児全員が集まる催しや式典など年に数回程度の使用であります。また、国の指針において遊戯室は保育室と兼ねることができることから、保育室を大きくするなど特色ある保育を提供していきます。

No.	[意見Q]	[回答A]
2	なぜ保育室を広くし遊戯室のかわりに使用するのはですか。メリットは。デメリットは。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くじら園のアピールポイントのひとつとして、保育室を広くし、催し物や異年齢交流が実施できるなど様々な活動が可能となるようにしていきます。</li> <li>・生活と遊びを分けた環境設定が可能となり、遊びの場を全て片付けなくても活動が継続でき、子どもたちにより影響をもたらします。</li> </ul>
3	2クラスを使って遊戯室のかわりに使用する場合、どのような活動をするのですか。活動内容と週にどれくらいですか。	2クラスをひとつにしての活動は、同年代の活動や異年齢の交流を行うなど様々な活動が行えるよう考えていますが、具体的な内容については、今後保育士と相談しながら決めていく予定です。子どもたちを第一に考え今後検討していきます。
4	2クラスをひとつにして2クラスで使用する場合、コロナ等の感染対策はどのように考えておられるのですか。	感染対策については、対応マニュアルに基づき、市と協議しながら進めていきますが、感染者を確認した場合は大人数で集まることは避け、感染拡大を最小限に抑えます。子ども一人ひとりの健康管理に最大限の注意が払えるよう体制を整えます。
5	朝やおやつ以降の夕方は体を動かして発散させたり、お散歩したり気分転換にもなります。(乳児や3歳児は特に必要です。イライラするとトラブルになります。) そういったおやつ以降等の気分転換やお昼寝で、早く起きた子の過ごす場所はどこにありますか。(雨の時や走りたいたときもあります)	子どもの発達過程については十分認識しており、様々な状況も経験しています。子どもの生活や天候に合わせ、保育室をはじめ、多目的遊戯室を活用するとともに、晴れた日は屋外での活動の充実を図ります。
6	(大きな遊具) 遊戯室がない場合、巧技台や室内ボール、マット、乳幼児カートなどはどこに片づけるのですか。	遊具については、保育室に収容する備品、多目的遊戯ホールに備品に分けて収納できるよう対応します。
7	巧技台や跳び箱、マットがない場合、子どもの運動面の遊びが限られるのではないのでしょうか。乳児も幼児も体を使った遊びができるようにしてほしいです。	室内遊具の必要な備品については、準備することで進めています。開園後、他の遊具の必要性があれば直ちに対応していきます。
8	コロナが落ち着いたのち、遊戯室がなかったら異年齢の交流や関わりはどうもつおつもりですか。例：5歳児の歌や合奏を見て4歳児以下はあこがれをもつ。	異年齢児交流については、活動内容に応じて多目的ホールを活用しながら、これまでと同様に、積極的に取り組みます。
9	1号認定、2、3号認定の子どもたちの降園時間は異なります。3歳児は午睡があります。1号認定の子どもたちはどこで待機するのですか。	市内にこここ園と同様、子どもたちの待機は基本的に保育室であり、スムーズに降園できるように進めていきます。
10	2クラスを使用する場合、部屋を広くするために遊びコーナーやおもちゃをすみに移動させると思うのですが、子どもたちが遊びを継続できないのではないのでしょうか。単発で終わらせる遊びではダメです。発展性のある遊びは全てを片づけてしまったらできないのではないのでしょうか。例：お店屋さんごっこなどのごっこ遊び、積木、ラキュー、ブロック、製作物(大きなもの) 可能な範囲で遊びの保障	3-2でお答えしたとおり、継続した遊び、学びも当然必要であると認識しております。可能な範囲の場所を確保していきます。

No.	[意見Q]	[回答A]
11	<p>幼児クラス、3.4.5歳児の各クラスは扉またはパーテーションで仕切ると聞きましたが、それだけでは騒がしい。隣のクラスの活動の音が聞こえると、落ち着かないではないでしょうか。</p>	<p>・移動間仕切りを設置していますので、騒がしいことはないと考えています。                  ・現在の幼児教育では、基本的にオルガンや保育士の声の大きさなど、音量に十分に配慮しており、落ち着いた中での保育を心がけています。</p>
12	<p>子育て支援室は週何回、何時から何時まで使用するのですか。（もし、子育て支援室をプレールームとして使用するなら、それは空いた時間しか使えない部屋になるのではないですか。それはダメ。いつも、いつでも行ける場所を。プレールームは大きな園だからこそ必要。幼児が遊戯室を使っているときに乳児が使用できる。</p>	<p>子育て支援室については、随時受けつける準備をしています。相談業務については一定ルール化を図りたいと考えていますが、極力保護者の皆様の都合に合わせます。一時預かりについては、基本的に子育て支援室で対応しますが、保育室やミーティングルームを含め柔軟に対応していきます。</p>
13	<p>部屋に入れない子ども（加配が必要な子ども）の保育はどのように考えているのですか。伴谷こども園はマンモス園です。大人数に対応できる園となっていますか。</p>	<p>支援の必要な園児には加配保育士を配置し、対応しています。これまでの経験と子どもの発達状況に鑑み適切な支援を行います。</p>
14	<p>少人数で活動し、気持ちを落ち着かせたりする場所はどこを使用するのですか。</p>	<p>屋外をはじめ、多目的遊戯ホールやミーティングルームなど様々な工夫を凝らし対応します。</p>
15	<p>多目的遊戯ホールで活動するにはオープンすぎないでしょうか。大人数で使用した場合、子どもの人数や状況の把握ができるのか。保育者の目をぬすんで抜け出しそうで心配。出て行きそう。</p>	<p>保育室をはじめ多目的遊戯ホール、また屋外などはセキュリティを万全に整備し、常に子どもたちが安全で安心できる保育を行います。</p>
16	<p>多目的遊戯ホールには冷暖房はありますか。夏は暑く、冬寒ければ使用できる期間が限られてしまいます。</p>	<p>半屋外の多目的遊戯ホール1及びホール2は冷暖房設置は現段階で考えておりませんが、寒暖の差も含め工夫しながら活用していきます。</p>
17	<p>廊下部分が多目的遊戯ホールとなっているので、例えば5歳児が使用していて、3.4歳児の給食の配膳を通るときに通れない。もしくは5歳児が使用できないのではないのでしょうか。</p>	<p>多目的遊戯ホールについては、有効活用が図れるよう保育士相互の連携を密にしながら対応していきます。給食配膳時など通れないことのないよう調整します。</p>
4. 遊具について		
1	<p>園庭にどのような遊具を設置するのか。                  乳児用、幼児用、砂場の数。                  挑戦しようとする気持ち、できたという達成感を十分味わえる環境なのか。                  総合遊具、雲梯、滑り台、鉄棒、上り棒などあるのか。</p>	<p>園庭の遊具設置については現在検討中です。設置場所や設置数も含め調整していきます。                  なお、現段階で砂場は4か所設置する予定です。</p>

伴谷統合認定こども園 意見書に対する回答

No.	[意見Q]	[回答A]
子育て支援施設整備推進室への意見書		
1	伴谷保育園、伴谷幼稚園、地域からの意見書を受けどのように思われましたか。	5月中旬に開催させていただいた保護者説明会や伴谷保育園保護者会、伴谷幼稚園PTAの皆様等多くのご意見・ご要望をいただき、市としても真摯に受け止めています。また、社会福祉法人くじら様においても、保護者の皆様のご意見等に寄り添い柔軟に対応いただいております。
2	意見書を受け、具体的な改善策を市としてどのような対応をお考えですか。	本意見書や保護者説明会、そして三者協議会のご意見を踏まえ、社会福祉法人くじら様と再三協議を重ねた結果、多目的遊戯ホールの設置、また遊具の配置など改善案を提示いただきましたので、提出いただいた内容で進めていきます。
3	くじらこども園の施設図面を許可されたのは市ですね。 0歳児（21名）・1歳児（36名）・2歳児（42名）の乳児を各1クラスで保育することは、子どもたちにとって安心・安全な環境だと思われませんか。	社会福祉法人くじら様において0、1、2歳児については、基本的に各1クラスで良好な保育をされております。また、パーテーションや棚を柔軟に活用しながら間仕切ること、保育士間の連携も図りやすいことから市内の公立園でも同様の形で実践しているところです。このことから、安心・安全な保育を提供できるものと認識しています。
4	300名の園児、大きなマンモス園で過ごす子どもたち。雨の日に遊戯室やプレールーム（遊戯室のような部屋）がないのに、どのように過ごせるとお思いますか。	国の基準では、保育室と遊戯室を兼用することができるかと定義されておりますが、これまで保護者説明会や三者協議会におけるご意見を踏まえ多目的遊戯ホールを3か所設置していただきます。
5	大人数の園児が過ごす園庭に遊具が少ないことをどのように思われますか。	遊具については、現在設置に向け検討いただいております。